



かながわの交通



交通安全年間スローガン受賞作品 (こども部門)
内閣総理大臣賞

しんごうが あおでもよくみる みぎひたり



汽車道の桜並木 (横浜市中区)



自転車はどこを走ったらいいの...? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(平成28年3月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成28年		6,721	29	7,931
平成27年		7,141	41	8,482
増減数		-420	-12	-551
増減率		-5.9	-29.3	-6.5

	総数	男	女
県人口	9,125,080	4,555,512	4,569,568
免許人口	5,602,710	3,227,903	2,374,807
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成28年3月31日、免許人口は平成28年2月末現在)

「平成28年度神奈川県交通安全協会事業計画」の概要

〔趣 旨〕

本年度は「第10次神奈川県交通安全計画」の初年度であり、その計画に基づいて「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を図るため、県内の交通事故情勢等を踏まえ、県や県警察の指導を得ながら関係機関・団体と連携し、地区交通安全協会と一体となって重点課題に取り組み、交通安全思想の普及・啓発事業等を積極的に推進します。

〔年間スローガン〕

「安全は 心と時間の ゆとりから」

〔重 点〕

- (1) 二輪車・自転車の交通事故防止
- (2) 子どもと高齢者の交通事故防止
- (3) 飲酒運転の根絶
- (4) 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- (5) 暴走族の追放
- (6) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (7) 夕暮れ時の前照灯の早目点灯
- (8) 踏切交通事故防止

〔年間運動等〕

番号	行 事	予 定 日	場 所
1	春の全国交通安全運動	4月6日(水)～15日(金)	全国各地
2	交通事故死ゼロを目指す日・シートベルトの日	4月10日(日)	全国各地・県内各地
3	自転車マナーアップ運動	5月1日(日)～31日(火)	全国各地
4	自転車交通安全の日	5月5日(木)	全国各地
5	二輪車交通事故防止運動・暴走族追放運動	6月1日(水)～30日(木)	県内各地
6	第47回二輪車安全運転神奈川県大会	6月4日(土)	運転免許試験場
7	第47回交通安全こども自転車神奈川県大会 第5回交通安全高齢者自転車神奈川県大会	7月2日(土)	横浜文化体育館
8	夏の交通事故防止運動	7月11日(月)～20日(水)	県内各地
9	第51回交通安全子供自転車全国大会	8月3日(水)	東京ビッグサイト
10	第49回二輪車安全運転全国大会	8月6日(土)～7日(日)	鈴鹿サーキット
11	バイクの日	8月19日(金)	全国各地
12	秋の全国交通安全運動	9月21日(水)～30日(金)	全国各地
13	交通事故死ゼロを目指す日	9月30日(金)	全国各地
14	自転車安全整備制度ブロック会議	10月6日(木)	栃木県
15	二輪車安全運転指導員養成講習・資格審査	10月15日(土)	運転免許試験場
16	飲酒運転根絶大会	11月上旬	未定
17	自転車安全教育指導者研修会	11月11日(金)	辻堂交通公園
18	自転車安全教育・二輪車安全運転推進委員会	11月17日(木)	県協会会館
19	交通安全功労者表彰式	11月24日(木)	県立音楽堂
20	飲酒運転根絶運動	12月1日(木)～31日(土)	県内各地
21	年末の交通事故防止運動	12月11日(日)～20日(火)	県内各地
22	交通指導員連絡会議	平成29年3月上旬	県協会会館



平成28年度 自転車マナーアップ運動

1 趣 旨

自転車の関係する交通事故が多発していることから、自転車の交通事故防止、特に自転車利用者のマナーアップと交通安全意識の高揚を図るため、県民運動として展開します。

特に九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)では、自転車の安全利用を促進する実効性のある共同の取り組みとして、本運動と同一期間である5月中を『**九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間**』として、啓発活動等に取り組みます。



2 期 間

平成28年5月1日(日)～5月31日(火)の1か月間

3 スローガン

自転車も のれば車の なかまいり

4 重 点

- (1) 自転車交通ルールの遵守とマナーの向上
- (2) 自転車点検整備と損害賠償保険の促進

自転車運転者講習制度

昨年6月から自転車で信号無視など「14の危険行為」を過去3年以内に2回以上繰り返すと、

『自転車運転者講習』

が命じられ、命令を受けて指定された期間内に受講しないと、5万円以下の罰金が科せられることとなりました。



「第47回二輪車安全運転神奈川県大会」出場者募集中

- 開催日時 平成28年6月4日(土)8時～
- 開催場所 神奈川県運転免許試験場

申し込み等問い合わせは公益財団法人神奈川県交通安全協会まで
(045-478-0166 E-mail:uketuke@k-manner.or.jp)

※ 全国大会は、8月6日、7日三重県鈴鹿サーキットで開催されますが、今大会から一般Bクラスで使用されるバイク『ホンダNC750L』(写真右)を訓練用に用意しています。



《 交通指導員連絡会議における意見発表 》

先般開催しました交通指導員連絡会議において、「交通安全活動への取り組み」等について伊勢原、浦賀、多摩の各地区交通安全協会交通指導員から意見発表をいただきましたので、発表順にその要旨をご紹介します。

【伊勢原交通安全協会：杉浦侯二交通指導員】

伊勢原市は人口10万人の小さな街で、交通指導員の総数は60名、伊勢原警察署の指導を仰ぎ、協力をいただきながら各種活動を推進しています。

伊勢原交通安全協会は、今年1月の「第56回交通安全国民運動中央大会」で優良交通安全協会として名誉ある賞をいただき、これまでの地道な活動が認められたものと、また、交通指導員の活動が少しでも貢献できたものと誇りに思っています。

主な活動としては、毎年3月に開催される大山登山マラソンでは交通指導員が総出して交通誘導を行い、円滑な大会運営に協力しています。有名ランナーを招待してのこのマラソン大会は全国に名を馳せており、伊勢原駅北口から大山阿夫利神社下社までの9キロ（標高差650m、石段1,610段）のコースで、全国から大勢の人がエントリーしてきます。登山コースに至るまでは、コース道路が地域住民が利用する「大山街道」1本で、国道246号を横断するほか、コースをランナーと車両が通行する中、沿道の応援者や観光客の交通安全に神経を使いながら、交通誘導に当たります。また、市内最大のお祭り「道濯まつり」では、交通安全協会としても交通安全パレードを行って、交通安全を呼びかけますが、交通指導員としては、2日間18時間に訪れる延べ20万人の観光客の交通誘導を交替で行っています。



【浦賀交通安全協会：大久保三雄交通指導員】

昭和54年7月10日に交通指導員となり、36年7か月の間、交通指導員をしており、平成22年6月に交通指導員部長に就いています。

36年間という長いように感ずるかもしれませんが、あっという間に過ぎたような気がします。

日常的な活動は、皆様方と同じように毎月1日、15日の交通安全日における街頭監視をはじめとして、春、夏、秋、年末の交通安全運動では交通安全イベントに参加したり、キャンペーンを展開したりするほか、多くの観客が押し寄せる花火大会では雑踏の交通誘導、マラソン大会では選手の走路の確保と沿道応援者の交通誘導に当たっています。

36年間の中で思い出としては、2010年のAPECが日本で開催された時、全国各地から機動隊の応援部隊が神奈川に来たわけですが、我が三浦の地の宿泊施設にも大勢の部隊がバスでやってきました。その際、交差点で交通監視をしていたとき、各部隊の警察官から敬礼をされ、身の引き締まる思いをした事、2011年の東日本大震災では、私服のまま自宅近くの交差点で交通誘導をしたところ誰も従ってくれず、とって返して制服に着替え、パトロール等で不在の警察官に代わって6、7時間交通誘導をした記憶があります。

今後、残り少ないかもしれないが、一生懸命取り組んでいきたい。



【多摩交通安全協会：岸 正和交通指導員】

多摩区内は、小田急線とJR南部線が交差しており、交通安全協会は、県道世田谷町田線と府中街道が交差する交通の要衝に多摩警察署があって、その一角にあります。区内には、岡本太郎美術館、民家園、藤子不二雄ミュージアムなどがあり、外国人も多く訪れています。大学も明治大学、専修大学、日本女子大学に2,600人の学生が学び、公立高校も4校あります。20平方キロの面積の中で交通事故も多く、特に自転車事故が増加しています。

交通街頭活動をしていて、自転車を利用しながらイヤホンをしている生徒が目立ちます。お金をかけスタントマンを活用して自転車教育をしているが、ルールを守ってくれない生徒がいる事は残念です。我々交通指導員が指導しているところではイヤホンを外し、50メートルくらい通り過ぎて、また付けるという状況があります。中には両耳のうち片方を外せばいいと堂々としている者もいてあきれてしまいます。もっと残念な事と言えば、このようなルール違反を見ても注意しない警察官がいるということです。

もう一つ気になることは、今後退職する交通指導員もいますので、その後継者の確保に頭を悩ませているところです。

いずれにしても、自転車事故が多い事から、交通監視や広報車による街頭広報、自転車の乗り方指導などを通じて、少しでも交通事故を減らせるように努力をしていきたいというのが、今の私の気持ちです。



セーフティ・ライダーズスクール

に参加してみませんか？

■ 参加費：傷害保険料100円 ■ 場所：運転免許試験場

二輪車の事故を防止するため、若者から中高年の全ての二輪ライダーを対象に安全運転講習会を開催しています。白バイ隊員やホワイトエンジェルス、二輪車普及安全協会指導員が実技を指導いたします。初心者の方、原付車の方、大歓迎です。お気軽にご参加ください。詳細は、県警察ホームページをご覧ください。



神奈川県警 セーフティライダーズスクール

検索

平成28年度の
講習予定日(10回)

4月2日(土)、**4月23日(土)**
レディースデー、5月14日(土)、6月11日(土)、7月23日(土)
9月17日(土)、10月22日(土)、11月12日(土)、12月10日(土)、1月14日(土)



安心してください! **女性大歓迎**

レディースデーもあります!! 4月23日(土)

二輪車事故防止のため、私たちが指導させていただきます

第17回理事会・平成27年度優良職員表彰式

3月3日(木)午後、県協会会館において第17回理事会が開催されました。

会議では、石坂会長の挨拶に続いて定足数の報告、議長の選出が行われた後、平成28年度の県交通安全協会事業計画案、予算案、地区協会に対する助成金配分案等について審議し、了承されました。その後、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告を行い、平成27年度の県交通安全県民運動事業計画、新入学児童・園児を交通事故から守る運動、春の全国交通安全運動、二輪車及び自転車の県大会等について説明しました。



また同日午前、長年にわたり交通安全協会の業務に精励し、効率的な業務運営に貢献した優良職員の表彰式が行われ、石坂会長から表彰状と記念品が授与されました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

～ 受賞おめでとうございます～

- **30年勤続表彰(1名)**
小林恵子(県安協)
- **20年勤続表彰(1名)**
堀内陽子(港南)
- **7年勤続表彰(10名)**
瀬川孝子(川崎市)、白田愛子(鶴見)、浦元速雄(川崎)、
高橋登志美(藤沢北)、小林重男(秦野市)、藤田弘子、
寺内美佐、五十嵐三香子、原田友香理、松下純子
(以上県安協)



交通事故の悲劇に学ぶ ③⑤

●事実を語る責任とその重さ 建設業(24歳)

平成19年4月。私は、人として一番やってはいけないことをしてしまいました。

その日は、友人達と私の家でお酒を飲む約束をしていました。仕事を終えた私は友人達を迎えに行き、お酒を買って自宅で飲み始めました。自宅近くにはタクシー会社があり、帰る人はタクシーで帰ってもらう予定でした。

飲み始めてから3時間程経過した夜中の0時頃、ボウリングをやりに行かないかという話になりました。飲酒運転というのは分かっていましたがその場の雰囲気もあり、男性3人、女性3人の計6人で2台の車に別れてボウリング場に行きました。私達は、ボウリング場でも更にお酒を飲み、朝の5時頃まで遊んでいました。帰る段階になり、私も皆もかなり酔いが回っていました。友人の1人は、このまま車で寝てから仕事に行くということになり、私を含めた5人が私の車に乗り込みました。私達も駐車場で寝ればいいものを、友人達を早く送り届けたい、眠いけどまあ大丈夫だろうとの思いから運転をしました。当時、私も友人達も飲酒運転に対する危険性や考え方は非常に甘いものでした。

車を発進させた私は、すぐに睡魔に襲われました。正直、運転をしていたことの記憶がほとんどありません。気が付いた時には、居眠り運転で反対車線に飛び出していました。反対車線に飛び出した私は、そのままバイクに衝突しました。さらに軽自動車とも衝突し、それでも止まらない私の車はガードレールに衝突。横転し炎上しました。車の中で身動きが出来なかった私は、煙を吸いながらこのまま私達は焼け死ぬのだと思いました。しかし、気が付いた時には外にいました。誰かに助けていただいたのか未だに分かりません。

私は、状況が全く理解できませんでした。友人がバイクの方を救護していましたが、ぐったりとしていてそれを見た私はどうしたらいいのかも分からず体が動きませんでした。同乗者の女性は泣き叫び、髪の毛や洋服は燃え、車やバイクは火柱を立てて燃えていました。その光景は、言葉ではとても言い表せない状況でした。自分が起こした事犯にもかかわらず全く動けず、私は意識を失いました。本当に情けないです。

私は、病院で目を覚めました。そこで父親から事犯の内容を告げられ、バイクの方が亡くなったことを知りました。「人を殺してしまった」ということに感覚が麻痺し、ただ呆然とするばかりでした。加害者の私ですらこんな感じですから、ご遺族の方々は想像を絶するものであったに違いありません。翌日、ご遺族の方から連絡がほしいと警察の方から話がありました。私はすぐに電話をし、必死に謝罪しました。「葬儀はもう終わったので、退院



(イラストは本文とは関係ありません)

したら焼香に来てほしい。詳しく話を聞きたい。家に来て下さい」と、ご遺族の方から言っていただきました。

退院したその日にご遺族のところへ謝罪に伺い、事件の内容をお話しました。「飲酒運転をした」ということを伝えることは本当に怖かったのですが、加害者として自分のことを含め、事実を全てお話ししなければならなかったと思います。その時のご遺族のお顔は一生忘れられません。ご遺族の方は、悔しい気持ちや怒りの気持ちで一杯だったはずです。

それでも「あなたは生きているのだから、この先一生懸命に生きなさい」と言ってくださいました。私にはどんな辛い言葉や罵りの言葉よりも胸が痛く、自分が引き起こした行為に対し悔しい気持ちになりました。

その後、私は逮捕され裁判が終わり、懲役4年の刑が下されました。そして事件から1年後に7000万円が支払われました。ご遺族の方々は、絶対に納得がいけないと思います。7000万円で一人の命が償えるのか。命の値段とは何なのか。償いとは何か。そのことを考えながら受刑生活を送っています。私は、受刑生活は相手に対しての罪の償いだとは思っていません。受刑生活は自分を律し、更生させるための訓練だと考えています。

出所した時から初めてご遺族に対して本当の償いの日々が始まると思っています。ご遺族の方々は、私を許してくれないと思います。当たり前であると思います。ですが、自分が犯した罪をよく考え、二度と同じことをしない、友人達にもさせない。そのことを一生守って行くことが加害者としての私の義務だと思っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第46集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株) 三春商会 ————— 横須賀市森崎
- 相模運輸倉庫(株) ————— 横須賀市田浦港町
- (株) 久里浜中央会館 ————— 横須賀市久里浜



川崎臨港交通安全協会
会長
大川原 久さん

おおかわら ひさし



川崎臨港交通安全協会は、昭和24年4月、会員数70名でスタートし、当初は、川崎臨港警察署内に事務所を構えておりましたが、昭和28年頃から約13年間は民間企業の社屋を事務所としてお借りしていたとのこと。その後、昭和39年4月に交通安全にご理解のある地域の有志の皆様のご尽力により、警察署敷地内に二階建て事務所を新築し、現在に至っております。

今回は、この川崎臨港の地で会長を務めておられる大川原久さんを紹介します。会長は、平成18年6月に当協会4代目会長に就任し、地区内で幅広い交通安全活動に手腕を発揮しています。出生地は群馬県とのことですが、ほとんどが両親が川崎の地に移られたため、人生のほとんどは川崎で、この地をこよなく愛し、誇りを持っておられます。

本業は建設会社の代表取締役という立場で会社経営に携わる傍ら、交通ボランティアとして活動をしています。忙しい合間を縫って各種交通安全会議には積極的に出席され、その結果は、必ず協会役員や事務局に的確にフィードバックされるなど、情報の共有化にも配慮をいただいています。平素から「交通安全全キャンペーン活動は、交通安全を訴える絶好の機会」と捉え、毎月の交通安全日や各季の交通安全運動におけるキャンペーン等を通じて、「地域住民に対する声かけ」を積極的に行っているほか、現場交通監視活動を行っている交通指導員の方々への激励など「融和団結」にも配意しています。また、昨今の厳しい経済情勢の中で、賛助会員や個人会員の減少に歯止めをかけるべく、幅広い活動を通じてご尽力されるなど、協会の運営面にも常に目を向けられ、事務局にも適切なアドバイスをいただいています。こうした地道な一連の交通安全活

動が認められて、平成25年に「交通安全章章緑十字銀章」を受賞されました。

家庭生活では、三人のお孫さんに恵まれ、良きお祖父ちゃん振りを出しています。現在、奥様と二人暮らし。毎日忙しく飛び回っている中でも、節目にはきつちりと奥様を同伴しての演劇鑑賞など、愛妻家でもあります。趣味のゴルフもなかなか腕前で、年間30回くらいコースを回っています。8年前からは「臨交会」として歴代の警察署長さんや町内会長、地域の方々とゴルフを通じ親睦を深め、私生活もしっかりとエンジョイしています。

会長は「知行一致、言行一致」を座右の銘としており、当協会のリーダーとして健康に留意され、ますますのご活躍を願っています。
(取材協力：川崎臨港交通安全協会)

こんにちは 「浦賀交通安全協会」です

浦賀交通安全協会は、昭和26年に、その前身である「報徳会」を改称して設立され、浦賀警察署内に事務所を構えましたが、昭和49年に同警察署敷地内に事務所を新築、移転しました。平成33年度には浦賀警察署が久里浜地区に移転する予定であり、現在、当協会としても移転や法人格を取得するための準備作業を行っています。

担当エリアは浦賀、大津、久里浜、北下浦の各地区で、面積は約34km²、道路は国道16号、同134号等主要幹線道路の延長は約42km、市道等を合わせた総延長は587.6kmになります。

世帯数は約7万7千世帯、人口は約18万人で、このうち高齢者が約5万人、約28.5%を占めており、人身事故全体に占める高齢者事故は約37.2%と人口よりも高い割合で推移しています。

「浦賀」の知名度は、「黒船」由来の

地で全国的に知られており、比較的温暖で住みやすい所ですが、近年人口は減少傾向にあります。鉄道は京浜急行が地域を縦断、山坂が多いため最寄り駅まで、バスや自動車、二輪車、自転車などの利用が多い。

昨年当協会では、交通事故全体に占める割合の高い「高齢者と二輪車」の事故防止を重点として、各季の交通安全運動等において、警察署、横須賀市をはじめ関係団体の方々のご協力、ご支援をいただきながら、各種キャンペーンを行うなど広く交通安全をアピールしました。その結果、当協会区域の交通事故情勢は、発生件数、負傷者数、死者数いずれも減少するなど、成果を収めることができました。

具体的には、幼児・園児に対する歩行安全教室、小学生を対象にした自転車教室のほか、街頭での自転車・二輪車街頭指導点検、高齢者を対象とした居宅訪問と反射材の普及促進活動や交通安全教室などを開催するとともに、ドライバーを対象としたシートベルト着装



キャンペーン、飲食店訪問によるハンドルキーパー運動を主とした飲酒運転根絶運動など数々の活動を行いました。特に、毎年4月に根岸交通公園で開催される「桜まつり」においては、当協会として独自に「交通安全の集い」を開催し、各方面から多くの方々の参加を得て、式典をはじめ交通安全教室等のイベントを行い、市民の交通安全意識の高揚に努めています。

今後も、協会の交通安全活動を理解し、それを支えていただく会員の獲得、拡大に努力を惜しむことなく、地域に根ざした交通安全活動を目指していきたいと思っています。

(荻野 記)

地区交通安全協会の活動紹介

南



警察署と連携し、南太田交番前で通行中の運転者にチラシやグッズを配布しながら自転車と二輪車の交通事故防止キャンペーンを展開しました。

加賀町



中華街周辺で区交と協等と連携し、警告書を貼付したり啓発物を配布しながら「放置自転車クリーンアップ」キャンペーンを行いました。

川崎臨港



警察署と区役所「タージマン」の協力により、園児41名を対象に横断歩道の渡り方を開催し、園児に交通安全を呼びかけました。

栄



JR本郷台駅前において警察、推進委員が連携して、母の会メンバーが鬼のお面をかぶり、通行人や自転車利用者に交通ルールの遵守やマナーの向上を呼びかけました。

交通安全街頭活動

横須賀



高齢歩行者の事故防止のため、警察署の協力を得て、衣笠十字路付近において反射材を靴に直接貼付してチラシを配布するなど、キャンペーンを実施しました。

麻生



大型店舗へ来場する高齢の買物客にチラシを配布したり、靴に反射材を直接貼付するなど高齢者事故防止キャンペーンを実施しました。

相模原



警察署、区と連携し、昨年任命した小学生の「セーフティリーダー」31名に自転車シミュレーターや反射材キットなどを活用して研修会を開催しました。

平塚市



中村会長、役員が平塚市役所教育長室に赴いて、市内28校新入学児童を対象とした「交通安全ABCファイル」の配布を依頼しました。

相模原北



「ソレイユさがみ」において、反射材を直接貼付したり、トラビック体操、自転車シミュレーターを活用するなど高齢者交通安全教室を開催しました。

相模原南



自転車事故が多いことから、小田急相模原駅及び周辺において、自転車用ライトやチラシなどを配布しながら自転車事故防止キャンペーンを実施しました。

インフォメーション

- | | | |
|-----------------------|------|---------------|
| ● 九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間 | 5月中 | |
| ● 二輪車安全運転講習 | 5/14 | 運転免許試験場 |
| ● 関東交通安全協会連合会表彰式 | 5/20 | 浦和ロイヤルパインズホテル |
| ● 第18回理事会 | 5/26 | 県安協会館 |